

飯舘村の決算報告

ポイントと共にお伝えします

「広報いいたて」では毎年、各会計の決算がまとまり9月議会定例会で承認されたタイミングで、前年度の決算報告を掲載しています。村の動きや村民の皆さんの暮らしに関わる大切な報告ですが、専門用語が多めで、やや分かりにくい部分もあるかと思いますが、今回の決算報告では、報告に使われている用語の意味や決算の内容について、一部解説を加えて掲載します。解説役で、村の予算を預かる総務課財政係の職員が登場します。

令和7年度飯舘村決算報告

飯舘村における令和7年度各会計決算がまとまり、9月議会定例会で承認されました。

令和7年度一般会計決算額は、歳入116億472万円、歳出111億5129万円であり、それぞれ過去9番目の規模となりました。歳入歳出差引額は4億5343万円、実質収支は、翌年度へ繰り越すべき財源1億6789万円を差し引いた2億8554万円の黒字です。東日本大震災の復興・創生に関連する支出は60億6944万円で、歳出総額の54.4%を占めています。

令和7年度の一般会計の他、特別会計・企業会計についてもお知らせし、村職員の給与などについても報告します。

CHECK!

歳入は、前年度に比べて、村税が10.6%の増収となり、繰越金も大きく増加しました。一方、国や県からの交付が大きな割合を占める「依存財源」については、事業内容の変化に伴い減少しました。前年度に比べて約20億円の歳入減となりましたが、歳出の調整で約2億8,554万円の黒字で決算しています。

歳入

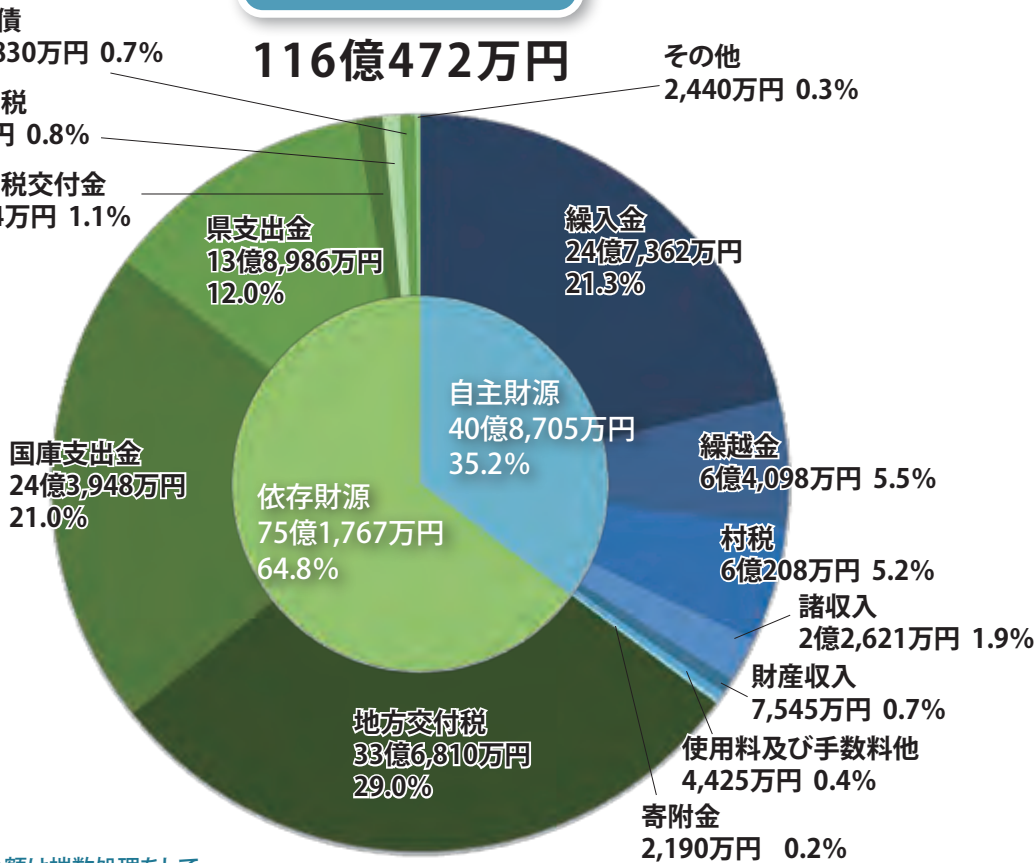
ここで言う歳入は、飯舘村が1会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）に受け入れた収入の総額です。大きく分けて「自主財源」と「依存財源」で構成されています。

自主財源の割合が徐々に大きくなっています。

自主財源：自治体が自ら集める収入。
依存財源：国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入。

歳入

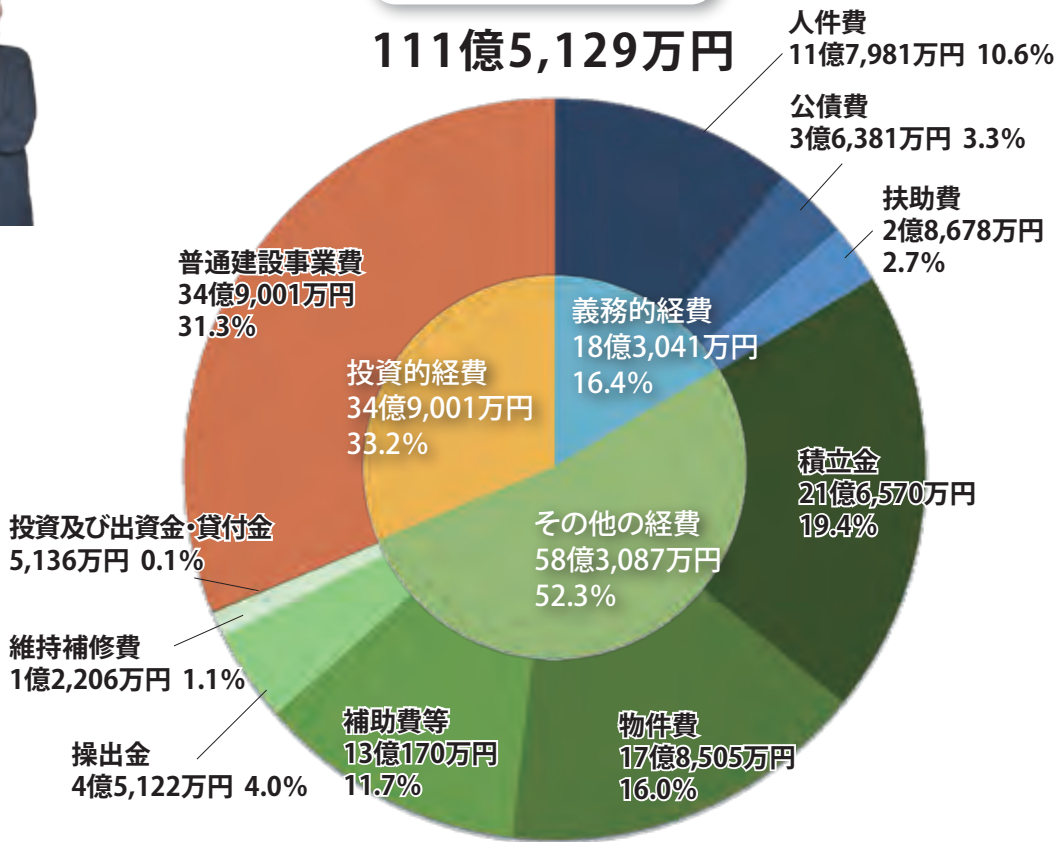
116億472万円



※金額は端数処理をして万円単位にしています。

歳出

111億5,129万円



将来を見越した歳入と歳出のバランスが重視されています。

